

共通テスト「プレテスト」の 実施概要が明らかに！

29年度は高校生5万人対象、公立高は教委が選出！

旺文社 教育情報センター 29年7月14日

33年入試（33年1月）から実施される「大学入学共通テスト」（以下、共通テスト）。その中で重要なキーワードとなるのが「記述式」「思考力」「英語4技能」だろう。どのような問題でこれらを問うていくのかは気になるところだ。記述式、マーク式ともにモデル問題は公表されたが、出題問題だけでなく採点基準や採点体制などの更なる検証のため、29年度と30年度にプレテストを行うことが決定している。このたび、29年度プレテストの実施概要が公表されたので内容を紹介する。

◆今後のスケジュール

まずは、共通テスト導入までのプレテストの実施スケジュールを確認する。

昨年、28年度にフィージビリティ調査が行われた。これは、大学1年生1,000人程度を対象としたもので、国語・数学の問題（※）について大問レベルのモデル問題だった。

これに対して、29年度のプレテストは11月に高校2年生以上の生徒5万人規模を対象として行われる。問題も大問レベルではなく、実際の試験を想定した形式だ。

30年度は12月頃を目途に10万人規模で行われる。31年度の実施は検討中だ。

（※）「大学入試センター」公表（29年5月16日、29年7月13日）

●プレテスト・スケジュール

	28年度	29年度	30年度	31年度
	フィージビリティ 検証事業	プレテスト	プレテスト	確認プレテスト (未定)
受験者数	約1千人	5万人規模	10万人規模	今後検討予定
対象者	大学1年生	高校2年生以上 (一部、高校3年生)	高校3年生	
実施時期	11月、2～3月	11月(一部、2月頃)	12月頃	

◆29年度に実施のプレテスト概要

ここからは、29年度に行われるプレテストの実施概要を紹介する。

実施時期は、29年11月13～24日内の任意の日時だ。参加する高校は、公立高校においては各都道府県の教育委員会による選出がされ、私立高校、国立大学附属高校などでは応募により決定される。参加する各高校が実施会場となり、試験監督などは教職員が行う。受験対象者は「記述式+マーク式」と「マーク式」で分かれており、「記述式+マーク式」が高校2年生以上、「マーク式」が原則高校3年生となっている。また、英語は、実施日が30年2

月頃の別日実施で、高校2年生が対象となる。プレテストの受験料は無料。

●実施概要

実施期日	29年11月13～24日内の任意の日時で実施	
実施科目、試験時間	a: 記述式+マーク式 (国語、数学Ⅰ・数学A) 国語・・・100分 数学Ⅰ・数学A・・・70分	b: マーク式 (世界史B、日本史B、地理B、現代社会、 数学Ⅱ・数学B、物理、化学、生物、地学) ・・・各60分
	試験時間については、今後の検討状況により変更があり得る。 その他アンケートを実施予定。(aは自己採点も実施予定)	
実施規模	1科目当たり約5万人	1科目当たり数千人
受験対象者	高校2年生以上	原則高校3年生

(注)「英語」は高校2年生を対象に30年2月頃実施予定

1高校当たりの受験科目数等	a(国語、数学Ⅰ・数学A)から1科目及びb(その他の科目)から1科目の計2科目 1高校当たりの受験者数は、概ね数十人から100人程度
試験実施	プレテストに参加する各高校がセンターが送付する実施マニュアル等に基づき実施
調査結果の公表	プレテストの実施状況について統計処理をした上で全体の調査結果を公表予定
結果のフィードバック	各参加高校に対し、プレテストの受験者個人の成績データ等を年度内(目途)送付予定
実施会場	プレテストに参加する各高校
試験監督等	プレテストに参加する各高校の教職員
受験料	無料

●高等学校等の選出の考え方

募集方法	公立高等学校等: 各都道府県教育委員会等において、高等学校長協会の協力の下、 管下の高等学校等を一定の基準に基づき選出		
	私立高等学校等及び国立大学附属高等学校等 : 各高等学校等から直接応募		
募集対象	29年度大学入試センター試験に出願した高等学校等		
選出方法	1校・1科目当たりの受験者数募集人数の目安		
	区分	志願者数が1～99人の高等学校等	志願者数が100人以上の高等学校等
	a: 記述式+マーク式	40人	80人
	b: マーク式	20人	40人
その他	センターにおいて問題を公表するまでの間、問題の内容が流出しないよう管理の徹底を依頼		

(注) 志願者数は、29年度「大学入試センター試験」への志願者数を指す。

・大学入試センター試験説明協議会(29年7月開催)資料より

まず気になるのが参加する高校の選定だ。参加を希望する高校も多いことだろう。しかしながらこれはすでに29年5月下旬からの募集期間が終了しており、現在、「大学入試センター」で集計・調整中でほぼ決定している段階だ。次に、2月に別日程で行われる英語だが、問題作成は「大学入試センター」が行うとしている。つまり、外部検定の利用ではなく、センター試験の後継の共通テストでの出題だ。受験する高校については、11月実施の高校と同一になるか再募集となるかは検討中だ。